



鈴木病院は4月1日で創立99周年を迎えます

～99年を振り返って～ 理事長 鈴木 道夫

当院は、今年の4月1日に、創立満99年の記念日を迎えます。申すまでもなく、来年は100周年を迎えることとなります。

およそ100年前この辺りは、松林に覆われた丘が続き、民家もほとんどなく、聞こえるのは松の梢を吹き渡る松籟と、寄せては返す波の音だけだったといえます。

さて、海軍の軍医総監であった創設者は、退官すると直ちに西欧に渡り、肺結核のサナトリウムを視察して回りました。帰国後、明治40年4月に東京市港区（現在麻布と呼ばれる場所）に診療所を創立し、当時国民病と呼ばれた結核の撲滅に立ち上がりました。

そして4年後、西欧で学んだ療養所を参考に取入れ、現在のこの地に療養所を建設しました。この地はノーベル賞も受賞したベルツ博士が、その著の中で『絶好の保養地』と賞賛しており、



珍しい浜辺の雪景色

それでこの地に白羽の矢を立てたと聞いております。

ひとくちに100年と言いますが、その間には幾多の^{かんなんしんく}艱難辛苦を乗り越えて今日を迎えております。

開設後13年、関東大震災に見舞われ、壊滅的な被害を被りました。そして昭和10年には不慮の失火により全病棟の半分以上を失いましたが、いずれも創設者の^{たゆ}地まざる努力により、復興を遂げました。昭和16年、第二次世界大戦に突入し、物資不足や食糧難に喘ぎつつ、くぐり抜けました。そして終戦と時を同

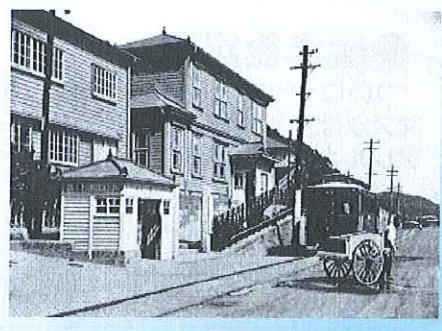


黎明期のスタッフ

じくして創設者の逝去という苦難を負わされました。

そして、戦後の混乱が治まった昭和30年代、国の結核撲滅政策が功を奏し、結核患者は顕著な減少傾向を見せ始めました。そこで、当院も結核療養所から一般病院へ転換せざるを得ませんでした。昭和42年、木造だった施設を鉄筋コンクリート造りに増改築し、その後も紆余曲折を経て、現在に至っております。

ここまで医療の提供を永続して来られたのも、地域の皆様にご利用いただけるからこそとお礼を申し上げますと共に、今後なお一層良い医療サービスをご提供できるよう、努力を重ねて参る所存ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



砂埃の道に散水する当院職員
(昭和5年頃)

職場紹介 ～事務部 医事課～

私たち医事課は、事務部長、事務次長をはじめ総勢10名で業務にあたっています。

主な業務として、外来患者さんの診察受付やお会計入院患者さんの入院時の手続きや、入院費のお会計、電話の対応などを行っています。診察の受付時間は、8:30～11:30午後は1:00～4:00となっています。受付からお会計まで、なるべくお待たせしない



事務部 医事課スタッフ



よう、常に笑顔で対応するよう心掛けています。昨年4月より新たなメンバーも加わり、不慣れな点もありますが、初めて来院される患者さんや、掛かりつけの患者さんにも安心して来院して頂けるように、努力して参ります。



イベント報告

癒しのリラ自然音楽会

平成22年2月6日(土)冬の暖かな日差しの中、リハビリテーションセンターにて「癒しのリラ自然音楽会」が開かれました。今回で4回目となる音楽会ですが、毎回患者さんやご家族様に喜ばれており、私たち職員も楽しみにしている行事のひとつになっています。

今回も「リラ自然音楽研究所」のみなさまにご協力いただき、素敵な伴奏と合唱を聞かせて

いただきました。患者さん35名、ご家族15名合計50名もの方に参加していただき、ピアノや歌に合わせてリズムをとったり、一緒に歌ったりして楽しまれていました。

懐かしい曲や素敵な歌声に癒され、患者さんだけではなく、私たち職員にとっても大きな感動の時間となりました。

リラ自然音楽研究所の皆様、どうもありがとうございました！
職員一同



●編集後記●

ついやって来ました「花粉の季節」毎年つらい思いをしているのは私だけでは無いと思います。外出時にはマスクは手放せません。アレルギーの薬も服用し今シーズンも乗り越えましょう。アレルギー科は水曜日・土曜日です。

さて、冒頭の紙面でもお伝えしましたが、当院は来年で100周年を迎えます。この記念すべき時を地域の皆様と共有できたらとても幸せです。

■突然ですが募集します！ ■ 病院やこの地域に係る思い出の写真やをお貸し下さい。100周年記念誌に掲載したいと思います。詳しくは、総務・人事課にお問合せ下さい。

Y.N



医療法人 社団南浜会 鈴木病院
〒248-0033 鎌倉市腰越1-1-1

TEL 0467-31-7651(代)
<http://www.suzuki-hp.ne.jp>